

趣向を凝らした展示も魅力の一つ



会場内に、秋色の彩り添える

◎秋の山野草展

鬼北山野草会（会長・武田国次）が主催する秋の山野草展は10月20・21日、広見体育センターで開催されました。会場には、青々とした山野草の他、赤や黄色といった秋らしい色合いの山野草も展示され、この季節特有の彩りが訪れた人たちの目を楽しませていました。また、山野草が植えられた鉢、それを入れる花台や配置方法など、展示の仕方ひとつにも趣向が凝らされ、会員らが丹精込めて育てた山野草の魅力をさらに引き立たせていました。

仏教史について語る講師の松尾剛次さん



歴史を知る、そして町を知る

◎平成24年度鬼北町歴史シンポジウム

11月3日、近永公民館2階講堂において、「中世等妙寺―寺院創立の謎にせまる―」と題して、平成24年度鬼北町歴史シンポジウムが開催されました。これは文化財サポーター養成基礎講座の一環として開催されたもので、山形大学人文学部教授の松尾剛次さんと元愛媛県歴史文化博物館学芸課長の石野弥栄さんの2人を講師に迎え、それぞれの観点から等妙寺の謎、そして魅力に迫りました。参加した約60人の受講者たちはメモを取ったり、時折講師の話に大きくうなずいたりしながら、真剣な表情で耳を傾けていました。

横断旗を取り替える交通安全協会職員



交通安全への願いを込めて

◎社団法人宇和島法人会鬼北支部・横断旗贈呈式

11月6日、鬼北交番において、社団法人宇和島法人会鬼北支部から鬼北交通安全協会への横断旗の贈呈式が行われました。これは社会貢献活動の一環として行われたもので、式には鬼北交通安全協会会長や宇和島警察署長などが出席。300本もの横断旗が贈呈されました。式の後には、関係者が横断旗の取り替えを実施。井上六廣鬼北交通安全協会会長は「本当にありがたい。これを機に一層、交通事故撲滅に努めたい」と話していました。

奮闘する鬼北チグリーニョの選手



優勝目指して、熱戦展開

◎鬼北ライオンズ杯サッカー大会

鬼北ライオンズ杯サッカー大会は11月3・4日、鬼北総合公園グラウンドで行われ、県内外から14チームが参加しました。選手たちにより繰り広げられる攻防戦。監督やコーチからの指示を出す声飛び交う中、どのチームの選手も体を張った奮闘を見せていました。また最後まで諦めず、懸命にボールを追いかけるその姿に、会場内の保護者からは熱い声援が送られました。主な結果は次の通りです。①和霊サッカークラブ②宿毛サッカークラブ③内子スポーツ少年団サッカー部